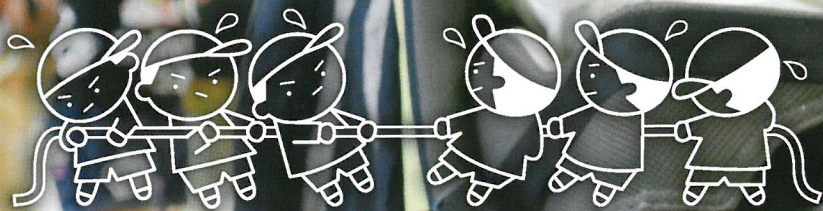


# ルルドの丘

2017  
9月  
No.39



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所ころ

訪問看護あんな



めぐみん

# みことば

心が自分のことでいっぱいになると  
隣人のことを考えるゆとりがなくなります。  
隣人のことを考えられないくらい  
自分を忙しくしてはいけません。

マザーテレサ（心のゆとりより）



## きらりん

### アートクラブ

2017年4月より、ひかりの大地で絵画制作などの活動をされている利用者5名を対象に、月1回「アートクラブ」の活動を行っています。

まず、自分の作品や自分自身のアピールをするための名刺作りから始めました。それぞれの得意な物（絵画や書、写真など）の中から好きな題材を1つ選び、表には名前と出身地や趣味、性格、大切にしている物などを書いて、名刺を見ればその人らしさが伝わるような名刺を作ることができました。6月には、臼杵市医師会立コスモス病院での展示に向けての作品作り、7月には日本絵手紙協会公認講師で、“元気の出るアート”の作家でもある原野彰子さんを招いて絵手紙教室を行いました。絵手紙との出会いや車椅子で運転免許を取るまでの話など、利用者の方々も真剣に話に聞き入っていました。絵手紙の方もそれぞれが描きたい題材をじっくり選び、原野さんにアドバイスをもらいながら、それぞれの持ち味を生かした、世界に1枚しかない素敵な絵手紙を作ることができました。私自身、傍で見ていて、見たままを感じるままに一生懸命描くことのできる利用者さんたちのすごさとそれを認めてもらえた嬉しさで胸がいっぱいになりました。その日は原野さんとの素敵な出会いに感謝する1日でした。

さて、臼杵市医師会立コスモス病院の作品展示ですが、7月3日から8月7日まで1階ロビーにて行われました。利用者さんと見学に行った際、病院の職員や来院者の方々から「すばらしいね。」「心が癒されます。」「次回も期待しています。」と直接声が聴けて、利用者にとってはそのような交流ができたことが自信にもなり、さらなる作品制作への意欲を新たにしていました。今までは作品を作って出すことが目標でしたが、今後は、その作品を見て感動している人がいることを実感し、そうした人たちと繋がるために作品を作る喜びや生きがいを感じてもらえればと思います。この活動を通して、制作活動がライフワークになるような手助けができればと思っています。まずは、地域に出て、繋がることから。



生活福祉課 保育士 廣田 由美子

コスモス病院の皆さまと

# 巻頭言

施設長 佐藤 圭右

身体障害と知的障害がともに重度の状態にある重症心身障害の子どもを持つ親などが集まる「第五十四回重症心身障害児(者)を守る全国大会」が今年の六月十日～十一日に、石川県金沢市内のホテルで開かれ、自分も参加させてもらいました。参加者は約一千人だったそうです。社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会などの主催で、初日は行政説明に続いて、四つの分科会ごとに支援方法などについての講演や質疑応答がありました。

身体障害と知的障害がともに重度の状態にある重症心身障害の子どもを持つ親などが集まる「第五十四回重症心身障害児(者)を守る全国大会」が今年の六月十日～十一日に、石川県金沢市内のホテルで開かれ、自分も参加させてもらいました。参加者は約一千人だったそうです。社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会などの主催で、初日は行政説明に続いて、四つの分科会ごとに支援方法などについての講演や質疑応答がありました。

その中で、自分は、在宅部会の第三分科会に参加させていただけました。テーマは、「地域における支援体制の確立」(ライフステージに応じた切れ目のない支援)でした。

その結果、例えば自分の表現活動として、サイン言語を用いることや絵画などの制作活動を行うことなど、成果が比較的理解されやすいのではないかと思います。

そこで、前回に続き、「療育」について、在宅の重症心身障害児者(在宅重症児者)のみなさんの立場で考えたいと思います。

その結果、例えば自分の表現活動として、サイン言語を用いることや絵画などの制作活動を行うことなど、成果が比較的理解されやすいのではないかと思います。

在宅重症児者のみなさんは、在学中から、住んでいるところの近くの放課後等デイサービスを利用して、卒業後は、生活介護サービス

在宅重症児者のみなさんが毎日同じ生活介護などのサービスを利用できていけば、療育の提供は計画的に行えるかもしれません。しかし、生活介護サービスは利用者が多い事業所も多く、A事業所が週に何回しか使えないため、残りの日はB事業所やC事業所に行く、などの方も多いと思われるます。また、体調を崩すことも少なくなく、やむを得ず生活介護サービスを利用する方も見られます。

す。そのような中で、在宅重症児者のみなさんにとっての療育とはどのようなものを希望されるのでしょうか? 分科会で、参加者のみなさん(親などご家族)に質問を投げかけました。

す。そのような中で、在宅重症児者のみなさんにとっての療育とはどのようなものを希望されるのでしょうか? 分科会で、参加者のみなさん(親などご家族)に質問を投げかけました。

「在宅の子どもたちにとって、社会参加こそが、最大の療育なんです。だから、それを個別支援計画の話し合いで要望した後、絵本を読むなどはなくなりました。」

「在宅の子どもたちにとって、社会参加こそが、最大の療育なんです。だから、それを個別支援計画の話し合いで要望した後、絵本を読むなどはなくなりました。」

「以前も述べましたが、障がいとは、例えば、歩けないとか、目が見えないとか、話を通じないとか、もっばら、その「個人」が、同年齢の人たちと比べて、その能力を欠くという意味で理解されているように思います。」

「以前も述べましたが、障がいとは、例えば、歩けないとか、目が見えないとか、話を通じないとか、もっばら、その「個人」が、同年齢の人たちと比べて、その能力を欠くという意味で理解されているように思います。」

しかし、現代では、WHO(世界保健機構)によると、障がいとは、心身機能、個人活動、社会参加に関する問題とされ、個人と所属する社会との相互作用とされています。つまり、例えば歩けなくて外食に行けない人でも、車いすなど歩く代わりのものがあつて、その移動に際し階段など妨げるものがなくて、スムーズにお店に入れるのであれば、障がいという概念は必要ないということだと思えます。

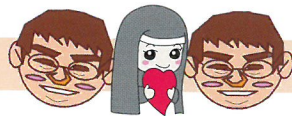
しかし、現代では、WHO(世界保健機構)によると、障がいとは、心身機能、個人活動、社会参加に関する問題とされ、個人と所属する社会との相互作用とされています。つまり、例えば歩けなくて外食に行けない人でも、車いすなど歩く代わりのものがあつて、その移動に際し階段など妨げるものがなくて、スムーズにお店に入れるのであれば、障がいという概念は必要ないということだと思えます。

このように考えると、社会が成熟し、個人レベルでの心身機能に問題があっても、社会がそれを受け留める仕組みを持ち、社会参加がスムーズになれば、障がいという概念はなくなるのかもしれない。

このように考えると、社会が成熟し、個人レベルでの心身機能に問題があっても、社会がそれを受け留める仕組みを持ち、社会参加がスムーズになれば、障がいという概念はなくなるのかもしれない。

その時代によって、求められる療育は変化している、そう感じた瞬間でした。

その時代によって、求められる療育は変化している、そう感じた瞬間でした。



## 地域連携室



### 地域連携室に

### 異動しました

主任 工藤 佳絵

七月に地域連携室に異動しました。現在、医療を取り巻く環境には、少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の発展、医療資源の地域偏在などの問題があり、医療制度をめぐる環境が大きく変化しています。そのため、医療保険制度の再構築と、質の高い効率的な医療を提供していくための変革が必要となっています。

国（厚生労働省）が進めている医療政策である「医療機関の機能分化と連携の促進」によって、病院には、地域医療連携室があります。症状に応じた適切な医療を提供し、病気の治療や早期発見に努めることを目的とするネットワークで退院支援を行い、退院後の患者さんが安心して在宅で療養できるように調整しています。



重症心身障害児者の数は、日本ではおよそ四三、〇〇〇人いると推定されています。そのうち、在宅生活を送る重症心身障害児者は約二五、〇〇〇〜二七、〇〇〇人と推計されています。重症心身障害児者の方は入所より在宅で生活していることが多いのが現状です。私は、在宅で生活している方の困り感に対応できるように地域連携室があると考えています。そのため、ネットワークを駆け、役割が果たせるようにさまざまなことを考えながら、仕事に取り組んでいきたいと考えています。

今後、さらに高齢化、在宅化は進んでいきます。「在宅医療が進んでいく中、医療機関にいる看護師が地域に出ることが重要」と言われる時代。それぞれの病院ではますます「連携」というキーワードが重要な課題になります。限られた医療資源を効率的に活用し、先の世代まで安心して質の高い医療を提供できる地域にできるよう、また、患の聖母の家が地域のコミュニティになることができるよう、未来に向けて、自分ができることを少しずつ行っていきたいと思えます。

## 生活福祉課



### 一年経って

介護福祉士 成安 誠

今年の四月、私は介護福祉士として二年目の春を迎えました。ちなみに介護福祉士とは、福祉の三大国家資格（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）の一つで、一人で日常生活を送ることが困難な高齢者や障がい児（者）の方々に、身体介護や生活援助を行うのを専門とした国家資格です。

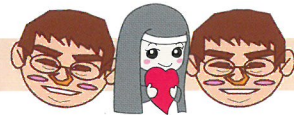
この職業を選んだきっかけは、子どもの頃の思いが強く影響しています。多くの人がそうであったと思いますが、私は幼い頃、家族を喜ばせたり誰かの役にたつ事がとても好きでした。それから時が経ち、進路を決める時期がやってくると、自分のしたい事が分からず迷い悩んでいました。そんな時、当時介護職をしていた母をみて、幼い頃の想いを思い出しました。またニューズなどで連日福祉業界の人手不足やニーズの多様化などが取り上げられていたこともあり、私は福祉業界へ進むことを決意しました。そして介護福祉士の取得ができる高校を選び、資格取得をしてから「患の聖母の家」に就職してきました。

介護福祉士として働きだして半年間は仕事も社会人としても分からない事が多く、人の名前を覚えたり業務をこなすのに精一杯で、学生の座学と現場の違いを痛感しました。一年が経つ頃には、業務にも慣れてきて技術も身に馴染んできました。一年が経過し、二年目になると担当利用者様をもたせて頂き、一年目にはなかった責任と緊



張感を感じるようになりました。それと同時に、利用者さんが何を考えているのか、その人にとってどう支援するのがベストなのか常に考えるようになり、また新たなやりがいを見つけることが出来ました。

最近では担当利用者さんへの対応などで自分の至らなさを感じたり、他施設への出張や後輩に良い刺激を受け、新しい目標もできました。これから、その目標に向かって頑張っていきたいと思っています。これまでご指導してくださった皆様、本当にありがとうございました。そしてこれからもどうぞ宜しくお願い致します。



## 総務課



### 最近の出来事

事務員 後藤 崇弘人

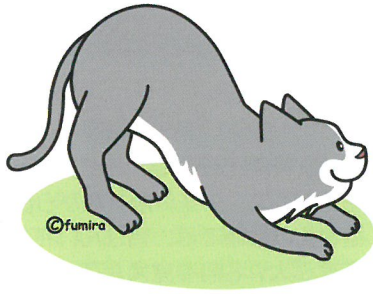
学生時代と呼ばれるものを終えると同時に恵の聖母の家の職員になり約一年と半年が経とうとしている今日この頃、最近は何のの流れをはやく感じている気がしています。

最近の出来事ということで、去年購入したゲーミングデスクトップ（ゲームをすることに特化したパソコン）の機能の一部が破損した話、飼っている猫に傷を増やされる話等々を書いていきたいと思います。

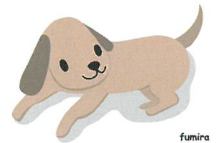
最初にパソコンの機能が破損した話、この話はご家庭でパソコンを使用している皆さんにはためになる話かもしれませんが。最近、私の母がダニあるいはノミに刺されるといふ事案が発生し、各部屋にバルサンを焚こうという話になり、私が仕事で出ている時間に決行することになりました。その日の夜のこと、私が普段通りパソコンを起動し、一応バルサンの影響で不具合が生じていないか確認していたところ、友人との会話等に使用するマイクの機能に異常があり、異音が生じるようになっていました。原因は至って簡単、バルサンを焚く際に隙間がありそこから煙が侵入したためです。結果、パソコンの中身の故障でマイクを新しく購入しましたが完全に修復はできず傷跡が刻まれることとなりました…。なのでパソコンのある部屋でバルサンを焚く際は本体、付属品やコードを袋に完全に包み込む、あるいは別の部屋に隔離すること

を強くおすすめします。

続いては家で飼っている猫に傷を増やされる話です。一部の職員の方の中には気付いている方がいるかもしれませんが私の手の甲や手首周辺には傷がたくさんあります。この傷は私の飼っている猫が最低でも週に一か所は更新している傷です。何故なのか私以外の人が触ろうとすると普通に触らせてあげるのでありますが、私が触ろうとするとすぐに噛んだり引っ掻いたり、遊んでほしいのかなめているのか。そんなこんなで最近の出来事でしたが今年も残るは三分の一。内の出来事のみではなく外での出来事も話せるようになることを目標に残りの二〇一七年を過ごそうと思えます。



## 看護課



### 私と愛犬「リク」

准看護師 後藤 真由美

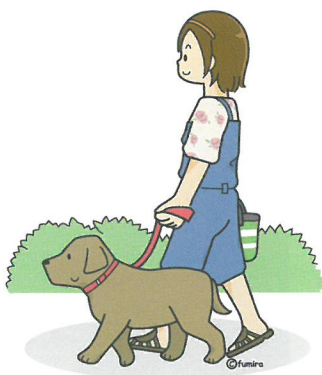
私は今、あゆみの広場で働いている准看護師です。ルルドの丘を書いて下さいと師長に言われた時、私は「絶対できません、書きません」と言いました。

私は本当に自分が嫌になるほどネガティブで、何をしても自信がなくて…。「内容は何でも良いので」と言われて、ふと今の自分が幸せになれる日々を送っていることをお知らせしようかなと思つて…。

あれは三年前、犬が飼いたくて仕方がなかったところへ、犬を売ってくれる人が現れて、私の家へ、可愛い、可愛いチワワ犬「リク」が家に来た時から、とても臆病、初心者、声をかけても身体を丸めて、跳びついてくることもありませんでした。その時、私は何かいとおしくなりました。なぜかと言つと、私と全く似ているなって、嬉しくもあり、可愛そうだなって。でも私が育てていくんだから、しっかりしなきゃと思つて…。かれこれ今日に至っています。

今のリクは、私が休みの時はゲージから出て家の中をドタバタ、オモチャを持って私の手もとに置いて、投げると催促して、オモチャを投げると喜んで取りに行き、それを何度も繰り返して遊んでいます。でも性格は相変わらずです。

私が夜勤で絶対ゲージから出さない時は吠えること



もなく、おとなしくゲージで過ごしています。最近ちょっと違ったことは、一週間に一回、外に散歩に連れて行つています。吠えることなく、平和市民公園の周りを嬉しそうに散歩しています。

小犬だから家の中でドタバタしていれば散歩は良いかなって私だけの考えではないなつて思いました。私もリクも性格は変わらないけれど、私はリクと過ごしてはじめて生きる喜びを与えてもらえました。これからも無理かもしれないけど、私とリクがポジティブになれる日がありますように頑張ります。

石井崇さん作品展 6月18日(日)～6月25日(日)

恵の聖母の家で生活を送りながら、制作活動を15年以上も行って



全体研修(感染対策研修会) 6月15日(木) 2階会議室

中津市民病院で感染管理認定看護師でもある師長の辛島正信さまに感染対策についてご講義いただきました。



夏の集い(あゆみ・のぞみ) 7月14日(金)

「夏の風物詩に触れて、日常とは違う雰囲気を楽しむ」を目的に、あゆみの広場とのぞみの広場合同で集いを楽しみました。



マーブル公演 7月22日(土) 地域交流ホーム

マーブルができて今年で10年! 恵の聖母の家の公演も記念すべき第10回公演となりました。



平成29年度訪問教室始業式 4月11日(火)

あゆみの広場で開かれ、校長先生からは「今年は仲間が増えること」「一学期を楽しんでいこう!」とお言葉をいただき、生徒からは「春休みに誕生日を迎えて歌のプレゼントをもらったこと」



火災訓練 5月12日(金)

恵の聖母の家、児童発達支援センターめぐみの職員を対象に火災訓練が行われました。臼杵市消防署野津分署の立ち合いのもと、火災発生から火元の確認、入所者の避難誘導、消火訓練を行いました。



表彰 5月17日(水)

平成29年度公益社団法人日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が北海道旭川市のアートホテル旭川にて開かれました。



第34回ふれあい運動会 6月17日(土) 地域交流ホーム

今年のテーマは「運動会みんなで頑張るぞ!」でした。副施設長挨拶では「市長、福祉課課長をお迎えして盛大にできることの喜び」「日頃の成果を披露できること」のお話があり、来賓からも「力を出して頑張って欲しい」とのエールをいただきました。



6月22日(木) 臼杵マルショク 参加者4名

行きの乗車では皆笑顔で、途中、帰省すると思ったのか泣き始めた人もいましたが、それでもお店に入ると商品を指さして、買い物を楽しむことができていました。



6月29日(木) パークプレイス大分 参加者6名

「運転手は来るのかな」と心配する人がいるくらい、皆さん、出発前から意欲的でした。到着後はご家族と合流して会話を楽しみながら過ごしました。



7月20日(木) パークプレイス大分 参加者5名

ご家族と一緒に、買い物や食事を楽しみました。買い物では、本を買う場合、初めに何冊か見てもらって、笑顔が良かった2冊の中から更に笑顔の良い方を1冊買う等、本人が好きなのを選ぶことを大事に行いました。



5月11日(木) 臼杵石仏 参加者6名

行きの車内は「どこに行くのかな」と不安げな表情を見せる方、逆に車窓の景色に笑う等、ドライブを楽しむ方と様々でした。到着後はご家族と合流し、皆で如来像を拝観しました。



5月18日(木) 佐野植物公園 参加者6名

佐野植物公園は自然に触れられる良い場所です。敷地も広いので簡易テントで休憩所を用意して、外気に触れながら昼食を美味しくいただきました。

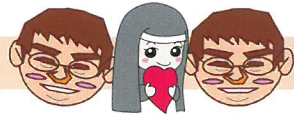


5月25日(木) 臼杵マルショク 参加者5名

犬飼リバーパークの予定でしたが、雨天のため臼杵マルショクに変更しました。行きの車内では職員の手を握って目が合うと笑顔を見せて、嬉しそうにしている人もいました。



関係者の皆さま、ありがとうございました。



▼各部署の声です。今年度の目標 共生 支え合い思いやる利他の心

児童発達支援センターめぐみ

最近のどきりん

◆五月、六月  
支援学校現場実習

五月から六月にかけて「臼杵、佐伯、大分支援学校」の二年生、三年生が現場実習に来ました。普段の学校生活とは違つので、少し不安な表情がみられていましたが、時間が経つとともに慣れたようになり自己アピールしたり、笑顔がみられるようになりました。

生活介護の利用者と一緒に午後からの療育活動に参加し、ご家族や先生と一緒に体験したことのないレクリエーション(ゲーム)を満喫し、充実した実習を終えることができました。また、実習等でお会いできることを楽しみにしています。

◆六月  
ふれあい運動会

十七日(土)第三十四回恵の聖母の家ふれあい運動会が行なわれ生活介護、児童発達支援を利用されている方々が参加しました。今年「こっちゃん、おいで」と題して、中央に置いてある「ボール、ぬいぐるみなど」(得点付き)へ向かって投げ縄を投げ、その輪を指定された位置まで引張る競技でした。紅白に分かれ真剣な眼差しで日頃の練習の成果を出すことができました。また、最終種目の全体フォークダンスではアップテンポの曲に合わせて皆それぞれが表現し楽しく踊ることができました。



◆七月  
七夕

七日(金)七夕の歌をうたって、短冊に書いた願いごとを発表し、七夕にちなんだビンゴゲームをして過ごしました。短冊には自身や家族の健康を願う方、好き嫌いなく何でも食べることを願う方、電車に乗り



たいという方、芸能人(志村けん)とコラボレーションしたいという方など各自がそれぞれの思いで願いごとを書きました。最後に笹の葉の前に集合写真を撮りました。皆さんとても良い表情をしていました。

水遊び

十二日(水)梅雨明けが待ち遠しい時期となりました。こんな日は「涼みたい」という思いから、交流ホームの玄関先で水遊びを行いました。水鉄砲、水風船、氷体験、金魚(疑似)すくいを体験しました。利用者もたくさん笑顔を見せてくれましたが、それ以上にスタッフがワイワイガヤガヤと盛り上がり、賑やかなひと時を過ごすことができました。

お知らせ

前回のルルドの丘でミュージックケアを紹介しましたが、その他にも「スヌーズレン、アロマ、本の読み聞かせなど」を随時展開しています。

児童発達支援管理責任者 竹尾 昭彦



私の趣味

調理員 小林 奈央

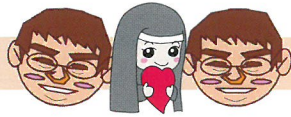
わたしの趣味はゴルフです。祖父が打ちっぱなしを経営しており、幼い頃からボール拾いを手伝っていたので自然とゴルフをしていました。本格的に始めたのは十三歳頃で、兄がゴルフの特待生で高校に進学したので、兄に追いつきたくて毎日夢中で練習していました。

ゴルフは夏は暑く、冬は寒く、お金がかかると言われますが、コースに出てありのままのボールを打つ難しさ、また幅広い年齢層で楽しめ、礼儀正しさも求められる、とても奥が深く、面白いスポーツです。

恵の聖母の家に入り、職種は違つけど、ゴルフ仲間ができ、一緒に練習したり、語ったり、コースに出たり...

ゴルフという共通の趣味を通じていろんな人と出会うことができ、ゴルフをしてきて良かったなと思えました。これからも精進していきます。





## 訓練課



### 大分に来て

理学療法士 森永 茉美

私が熊本から大分に来て一年半が経とうとしてます。県外に一人で住むという不安でいっぱいだった頃は今は懐かしいなと思うようになりました。

大分に来た時は野生のシカのお出迎えから始まり、自分がイメージしていたシカと実際のシカが違うことに衝撃を受け、家の壁にカナブンがいると思ったらカブトムシだったことに驚き、方言はもちろんのこと、イントネーションも違うことに戸惑い、初めてをたくさん経験することができました。

方言においてわからない言葉はほとんどなかったのですが、「よだき」「せつちい」「しんけん〇〇」は初めましての言葉でした。また熊本の方言に比べ「しちゃん」「しよったん」という「ち」という方言は可愛いなと思いました。

熊本弁では、「ばい」「なんしよっと?」「ととととと」という言葉を一度は聞いたことがあるのではないかと思います。熊本の人は早口で語尾が強いため、熊本人同士、普通に会話していても県外の人から見たら喧嘩しているように見えるという話はよく聞きます。

イントネーションもごちゃごちゃという語尾が強く、少し圧を感じるかもしれません。ですが、おじいちゃん、おばあちゃん達ではない限り、何を話しているのかわからないということはなく、暑苦しいほど優しい人が多いので、ぜひ熊本に遊びに行っ



てみてはどうでしょうか？阿蘇の壮大な景色や赤牛、いきなり団子など美味しい食べ物もたくさんありますし、くまモンにも会えますよ。

私はというと、温泉に入ったり、とり天を食べたりと大分を満喫しています。今ではすっかり染まってしまったようで、たまに熊本に帰ると逆に「イントネーションが違う」と指摘されるようになりました。熊本弁を広めようと思ったのですが、失敗に終わったようです。

## 放射線課



### 小説家に成ろう

放射線技師 清永 高明

ネットのサイトに「小説家になろう」というサイトが有るのをご存知だろうか。無料で小説が読めるこのサイトの事を。

私がこのサイトを知ったのは二年程前の事だった。それからはこのサイトで無料で小説を読んでいる。ここを知る前は本を買って読んでいたので本が増えすぎて困っていたのだ。古本屋に持って行ってでも大したお金に成らないし重くて高張るので始末に困っていたのだ。しかしここで読めばタダだし、本は増えないし自分にとってはとても有益なサイトだった。家に本が増えすぎて困っている方には是非このサイトをお勧めしたい。

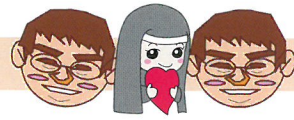
作品の数は、現在掲載作品数は四十九万作品以上有る日本最大の小説掲載サイトなので自分好みの小説が必ず有ると思う。また会員登録すると作者とメールのやり取りが出来たりするのでとても面白い。会員数は一〇〇万人以上、現時点で日本最大の小説サイトである。そして会員になるとお気に入りの小説にブックマークや評価と言う小説支援が出来たりするので更に面白くなった。

さてこの小説サイト、ラノベ小説になった作品なども数多くあり小説の現本が載っている場合等も多く有るのがこのサイトの人気の秘密だと思う。人気の有る作品は書籍化されたりアニメ化されたり、コミックになる様なので小説家に成りたい人や現役作家も数多く投稿している様だ。



さて本題に入ろうか、もし小説を書ける人がこの施設に居たら是非投稿して有名作家になってもらいたい。そしてコッソリと私にサインをしてもらいたいものだと思う。





## 保護者の皆様から



### ちょっと振り返って大切だなと思うこと

石井 裕美

息子が恵の聖母の家で生活するようになって34年になります。4歳で入ったので、今38歳。あっという間にも思えますが、長女も結婚し、私には孫も生まれました。生まれた頃の息子は発達が少し遅いかなと思うくらいでした。しかし、頸が座らないこともあり、1歳過ぎに日本で三本の指に入るお医者さんがいるという東京の慈恵愛病院を受診しました。その時に障がいがあると言われて、お父さんも私も泣きました。生まれた頃は元気な子を願っていたので、「なんで、なんで」という気持ちが強くありました。それからは療育センターや医大で訓練を受けたり、他に針もしました。

そんな中、医大の先生から恵の聖母の家ができるとの話がありました。その頃の我が家は祖母が認知症に罹っていて、夜に子どもたちを起こすために子どもたちが泣くという生活でした。市の福祉課に相談すると「空いていない」と言われたのですが、空きはあったようで、あれこれしてようやく入所となりました。入った時は「夜中によく泣く」と職員さんから聞きました。そんな時は職員さんがおんぶして対応したと聞いて、息子にとっては第2のお家だなと思っています。今にして思えば、祖母が病気でなけ

れば、今の恵での生活はなかったかもしれません。息子もこのまま元気に過ごしてくれたらと思っています。

現在、私は高齢者のデイサービスのスタッフとして利用者さんと外出することがあります。恵の施設外療育には親として参加するだけでしたが、支援する側になると、初めてリスクを考えるようになりました。しかし、外に出ると皆、表情も変わります。恵ではシスターの思いが通じているためか、家庭的雰囲気や大事にする根っこがあるためか、職員がかわってもゆとりある生活が送れていることに感謝し、自分の職場では恵を参考に関わらせてもらうこともあります。

今は高齢者施設でも自分でできることやしたいことをさせてもらえる時代です。また介護者の確保が難しい時代に、恵では昔からしたいことをいろいろさせてくれています。支援学校卒業後、絵を描く活動を始めて、先日は初めて作品展を開くことができましたが、親としては正直、息子らしさがどこまで出せたかを考えると、少々恥ずかしい気持ちもありました。ところが「作品展の新聞記事を見て来た」という古くからの友だちが涙を流して喜んでくれたり、「指絵が良い」という感想をいただくと、息子が自分の気持ちを出せたのだなと思えて、それに力を注いでくれた職員さんの関わりをありがたく感じています。

療育を受けるかどうか悩む親御さん多いと思います。親しかわからないところもあり、単純にあれこれ言えませんが、今は昔と違って専門家も多くなりました。障がいがなくなればと今でも思いますが、気になるなら療育を受けた方が良いのではと思います。何より、早くその子が楽に生活が送れるようにしてあげたら、子どもが成長して自分の生活を振り返った時に「良かったな」と思えるようにしてあげたらと思います。この先はわかりませんが、その時その時を大事にしていくことが大切かなと今、思っています。

## 支援学校訪問教室



### 臼杵支援に赴任して

大分県立臼杵支援学校 佐藤 恭子

臼杵支援学校に赴任して4ヶ月が過ぎました。

訪問教育学級の担任になり、恵の聖母の家へ週に4回通う生活が始まりました。

初めてのことで、『何がわからないのかが分からない』状態でしどろもどろの私に、職員のみなさんが一つ一つ丁寧に教えてくださって、とてもありがたかったです。

中でも、児童の指導については、通学生と比べるとかなり制限がある訪問教育の授業時間の中で、実態把握・目標設定・指導内容・合理的配慮等を進めていくのはとても難しいことです。しかしながら、私が担任した児童については、保護者さんをはじめ、看護師さん、保育士さん、理学療法士さん、作業療法士さん、言語聴覚士さん、臨床心理士さんから、1学期の早い時期にたくさんの情報をいただけて、授業を計画・実施・改善していくことができ

ました。さらに、必要と思われるときには、情報交換および指導打合せをもっていただけたことも、我々教師にとっては、大変有意義なことでした。ありがとうございます。

恵の聖母の家は、遙か昔(?)、私が若かりし頃に見学に行った記憶がありますが、このように専門職の方々が一一人の児童に、きめ細やかな対応をし、なお『第2の家庭』というアットホームな雰囲気を絶やさない場所であったことは、当時知るよしもありませんでした。

私の教師としてのスキルアップに繋がっていることは言うまでもなく、今後も『連携』していきながら、子どもたちの成長とQOLを高めていけたら嬉しく思います。



授業の様子①



授業の様子②



授業の様子③



『ふれあい交流会』の様子①



『ふれあい交流会』の様子②

# ★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言

Meguminoseibo




①佐藤 彩花 (さとう あやか) さん  
 ②保育士 ③大分市  
 ④音楽鑑賞とドライブです。三代目 J soul brothersを聴きながら夜景を観に行ったり、遠出をしています。  
 ⑤社会人一年目でわからないことがたくさんあり、ご迷惑をおかけしますが、先輩の背中をみて学んでいきます。よろしくお願いします。

↑ ♡ ○ 🔍

Meguminoseibo




①山口 眞子 (やまぐち まこ) さん  
 ②理学療法士 ③大分市  
 ④DVDを観ることです。食べることも好きなので色々なお店に行って美味しいものを見つけるのも趣味の一つです。  
 ⑤入社して4か月がたち、仕事にも少しずつ慣れてきました。まだまだわからないことなどありますが精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

↑ ♡ ○ 🔍

Meguminoseibo




①植田 真穂 (うえだ まほ) さん  
 ②介護福祉士 ③臼杵市  
 ④晴れた日に、人が少ない公園などでトランペットを吹くことが好きです。  
 ⑤高校を卒業し、こちらの方でお仕事をさせていただくことになりました。働くことすら、まだまだ慣れていない部分も多くありますが、何事にも一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

↑ ♡ ○ 🔍

Meguminoseibo




①加藤 綾乃 (かとう あやの) さん  
 ②言語聴覚士 ③大分市  
 ④ピアノ、音楽鑑賞、動画鑑賞。最近ではYoutuberをみることにまっています。  
 ⑤これから先、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、よろしくお願いします。

↑ ♡ ○ 🔍

人事

▼新規採用  
 二〇一七年 二月一日付  
 平野 晃広 看護師

二〇一七年 四月一日付  
 山口 眞子 理学療法士  
 加藤 綾乃 言語聴覚士  
 佐藤 彩花 保育士  
 植田 真穂 介護福祉士

▼退職  
 二〇一七年 五月十一日付  
 梁矢 詩子 看護師

▼任命  
 二〇一七年 七月一日付  
 看護主任 工藤 みゆき

▼異動  
 二〇一七年 七月一日付  
 地域連携室主任 工藤 佳絵

Meguminoseibo




①平野 晃広 (ひらの あきひろ) さん  
 ②看護師 ③大分市  
 ④野球、バドミントンです。  
 ⑤入社して半年になりますがまだまだわからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします！

↑ ♡ ○ 🔍

## ◇各ご連絡・ご相談先

発達外来 (初診受付) …0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
相談支援事業所…0974-32-7788	訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667
外来保育さっず…0974-32-7778	恵の聖母の家 (代表) …0974-32-7770

# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談  
 ㊤…権利擁護・虐待防止部会 ㊦…全体朝礼 ㊧…労働安全衛生委員会  
 ㊨…リスクマネジメント部会 ㊩…入浴日

9月			10月			11月			12月		
1	金	㊩	1	日		1	水	㊤	1	金	㊩
2	土		2	月	㊩	2	木	行事委員会 ㊩	2	土	
3	日		3	火	㊦	3	金		3	日	
4	月	㊩	4	水	㊤ ㊩	4	土		4	月	㊩
5	火	㊦	5	木		5	日		5	火	㊦
6	水	㊤ ㊩	6	金	㊩	6	月	㊩	6	水	㊤ ㊩
7	木		7	土		7	火	㊦	7	木	
8	金	㊩	8	日		8	水	㊧ ㊩	8	金	㊩
9	土	家族の日・ファミリーフェスティバル	9	月		9	木		9	土	クリスマスの集い
10	日		10	火	◎ ㊩	10	金	㊩	10	日	
11	月	㊩	11	水	㊧	11	土		11	月	㊩
12	火	◎	12	木	臼杵しまむら	12	日		12	火	◎
13	水	㊧ ㊩	13	金	㊩	13	月	㊩	13	水	㊧ ㊩
14	木		14	土		14	火	◎	14	木	もちつき
15	金	㊩	15	日		15	水	㊩	15	金	㊩
16	土		16	月	㊩	16	木	㊨	16	土	
17	日		17	火	◎ 施設内活動	17	金	㊩	17	日	
18	月	㊩	18	水	㊩	18	土		18	月	㊩
19	火	◎	19	木	㊨ パークプレイス大分	19	日		19	火	◎
20	水	㊩	20	金	㊩	20	月	㊩	20	水	㊩
21	木	臼杵マルショク ㊨	21	土		21	火	◎	21	木	㊨
22	金	㊩	22	日		22	水	㊩	22	金	㊩
23	土		23	月	㊩	23	木		23	土	
24	日		24	火	◎ ㊟	24	金	㊩	24	日	サンタプレゼント
25	月	㊩	25	水	㊩	25	土		25	月	クリスマスミサ ㊩
26	火	◎ ㊟	26	木		26	日		26	火	◎ ㊟
27	水	㊩	27	金	㊩	27	月	㊩	27	水	㊩
28	木	パークプレイス大分	28	土		28	火	◎ ㊟	28	木	
29	金	㊩	29	日		29	水	㊩	29	金	
30	土		30	月	㊩	30	木		30	土	㊩
			31	火	◎				31	日	

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。※予定変更の場合があります。

## 編集後記

今年7月には九州北部豪雨災害が発生し、その後も各地で雨や猛暑が続く夏でした。ルルドの丘39号をご覧いただく頃には、過ごしやすい気候になっていて欲しいと思っています。秋の夜長をゆっくりと楽しみたいところですが、10月になれば次年度の準備になってきます。何事も備えあれば憂いなしといきたいところです。(S.M)